



『QCサークル』誌 2026年8月号 見どころ、読みどころ

★トップからのメッセージ

表2～

エバグリーン廣基㈱ 代表取締役社長 米原 まきさん

エバグリーンは、「社員一人ひとりが主体的に考え、行動する」個店経営を大切にし、その理念を支える人財育成として2023年にQCサークル活動「3ES活動」をスタートしました。導入のきっかけは他社の発表会で受けた感動。「これこそ自発的な人財育成」と確信し、試行錯誤を重ねながら全社へ浸透させてきました。現在は170サークルへと拡大し、社内発表会や業界大会への挑戦を通じて活動は着実に成長しています。社員の主体性を育み、企業の成長につなげる3ES活動への思いと、その歩みを米原社長に伺いました。

★ザ・ショット 写真で綴る QC サークル紀行

p.3～

㈱福井村田製作所

世界トップクラスのシェアを誇る積層セラミックコンデンサ（MLCC）の生産を担う福井村田製作所。同社では2011年を転機に、人と職場の成長を重視した「成長型QCサークル活動」へと大きく舵を切りました。独自の推進体制やQCC指導士会による実践的な支援を通じて、QCサークル活動は着実に活性化。発足間もない「CANDYサークル」も、仲間との団結と5ゲン主義・「なぜなぜ」の徹底で飛躍的な成長を遂げ、全日本選抜QCサークル大会で優秀賞を受賞しました。人財育成と職場力向上を両立する同社の取り組みを紹介します。

★特集：テーマ型の活動をうまく進めるコツを教えます

p.9～

「テーマ型の活動」は、職場の課題解決や成果創出につながるQCサークル活動の基本ですが、テーマの選び方や進め方に悩むサークルも少なくありません。本特集では、テーマ型活動を効果的に進めるための考え方や実践のポイントをわかりやすく解説します。テーマ設定から現状把握、要因解析、対策の実施・効果確認まで、それぞれの段階で押さえておきたいコツや工夫を紹介。活動を円滑に進め、メンバーの成長と職場改善の成果につなげるためのヒントが満載です。これから活動を始めるサークルはもちろん、活動をさらにレベルアップしたい方にも役立つ内容となっています。

★活動支援のページ：リーダー・サークルに寄り添う支援の工夫 ～QCサークル活動をより楽しく進めるために～

p.24～

第8回 攻め所を明確にするために「ありたい姿」と「現在の姿」を把握しよう！

課題達成型QCストーリーでは、「ありたい姿」と「現在の姿」のギャップを正しく捉え、改善の“攻め所”を明確にすることが成功への第一歩です。本ページでは、サークルメンバーの会話を交えながら、現状を多角的に分析し、ギャップから攻め所を導き出す考え方をわかりやすく解説します。対策を急ぐのではなく、まず何が不足し、何に取り組むべきかを整理することの重要性を紹介。課題達成型QCストーリーならではの実践的な進め方を学び、効果的な改善活動につなげるためのポイントをお届けします。

★体験事例＆ワンポイント事例

今月は、体験事例3件を紹介します。

体験事例：p.30～

1. ㈱豊田自動織機 トヨタL&Fカンパニー 高浜工場「ペブシマンサークル」
「～ピンチをチャンスに変えていけ！伝統の堅持、そして伝承～三輪フレーム溶接ラインにおけるハーネスBRKT溶接不良の低減」
2. Astemo㈱ 群馬サイト「南風サークル」
「高温検査機における基板落下不良の撲滅」
3. アクシアル リテイリング㈱ フレッセイ 朝日町店「ばんだパンサークル」
「ベーコンチーズフランスの製造不良個数削減～どこを食べても具があるおいしいパンを作る！」

★サークルギネス

P.44～

認定記録 第183号 同年度のQCサークル全国大会において、同一工場から出場した3サークルすべてが感動賞を受賞（職場ギネス第24号） ㈱小松製作所 大阪工場

★私たちの活動を紹介します！〈JHS（含む医療・福祉）部門編〉

P.50～

社会福祉法人福寿園 ひまわりの街地域包括支援センター 「竜神いきいきサポートセンター」

地域包括支援センターで働く4名のサークルが、「利用者の知りたいことにすぐ応えられる体制づくり」を目指して課題達成型QCストーリーに挑戦。紙資料中心の情報管理を見直し、Googleサイトを活用したデータベース構築や生成AIを取り入れた研修、情報共有の標準化を進めました。その結果、相談対応の質や提案内容の正答率が大幅に向上し、職員のスキルアップとチーム力強化を実現。現場の困りごとを見える化し、ICTと改善活動を融合させて利用者サービス向上につなげた実践事例を紹介します。

★QC検定道場

P.52～

第8回 日常管理・新QC七つ道具（2）

「QC検定道場」では、品質管理検定（QC検定）3級の合格をめざし、レベル表にしたがって過去問題と解答、解説を紹介します。今月は、QC検定3級の過去問題から、日常管理と7月号に続いて新QC七つ道具について重要な問題を詳しく解説します。

★連載講座：職場で使える心理学～QCサークル活動を、考え・工夫し・成長する活動とするために～

p.56～

第2回 モチベーション理論と士気管理

QCサークル活動を「やらされる活動」から「自ら取り組みたい活動」へ変えるには何が必要でしょうか？本連載では、心理学の視点からモチベーション理論と士気管理を解説し、実際の改善事例をもとに、メンバーの主体性を引き出す考え方を紹介します。「モチベーションの種」や「心の効果検証」、「脳の報酬系」といったキーワードを通じて、チーム全体のやる気を高める好循環のつくり方をわかりやすく解説。QCサークル活動を活性化し、継続的な改善につなげるための実践的なヒントが満載です。

☆『QCサークル』誌に貴社の広告を掲載しませんか？

会社や自社製品のPRの場として、ぜひご検討ください！

詳細はホームページをご覧ください。

+++++ 本件に関するお問合せ ++++++

一般財団法人 日本科学技術連盟 『QCサークル』誌編集

TEL：03-5378-9817 E-mail： editotqm@juse.or.jp

